



いずみの里



清水小宣言 「さわやかなあいさつをかわします」「進んで人のために働きます」「友だちを大切にします」

学校行事が培う力と、これからのあり方について

11月19日、20日にかけ、6年生が東京方面に修学旅行に行ってきました。両日とも晩秋らしい爽やかな好天に恵まれ、日本科学未来館、上野公園や浅草、国会議事堂、東京タワーなどの見学地での学習や体験を思いきり楽しみました。6年生は、どの場面でも、その場所にふさわしい振る舞いを行うことができ、班別研修では、お互いに気遣いながら時間を守って行動するなど、6年間の学習活動の成果である修学旅行にふさわしい姿でした。何より、様々な出会いや発見への驚きや喜びを素直に言葉や表情で表現できる心の有り様は、下級生に引き継いでいきたい清水小学校の財産であると感じました。

この修学旅行で、令和7年度の教育課程で計画した、すべての校外行事が終了しました。5年生の自然教室や各学年や各学年の社会科見学など、延期や中止をすることなく、また、大きな事故なく実施できました。準備や体調管理などご家庭のご協力に改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

各行事を統括的に振り返ると、直接体験を通しての学びや、学校を離れての集団活動は、子供たちの成長に欠かせないものであることを再確認しました。学習のオンライン化や個別化が今後ますます進んでいきますが、学校の大切な役割の一つとして今後も継続的に実施していきたいと考えています。一方で、私たちが想像している以上に、社会の構造は著しい速度で変化しており、前年踏襲や毎年同じ内容や質を維持することは、現実的に難しくなっていることを強く感じる1年でもありました。

例えば、自然教室で利用する宿泊施設については、近郊施設の老朽化が進み、どの施設も何かしらのリスクを抱えるのが現状です。施設のリニューアルに伴って、利用料の値上げや、学校が優遇されていた予約や宿泊制度の見直しなどが進められているところもあります。学校から少し離れた場所を選ぶと、バス代の上昇や、往復時間の増加による子供への負担が大きくなる問題が発生します。今後、学校キャンプなどの選択肢なども視野に入れた計画づくりも検討する必要があるようです。

また、修学旅行については、インバウンド需要による宿泊料金の高騰は、止まるところを知りません。さらに法改正によるバス利用



料の高額化などを合わせると、旅行費は 10 年前の 1.5 倍程度まで上げっています。移動手段に鉄道を利用する、目的地を東京から変更するなど、抜本的な見直しが必要になってきます。

いずれにしても、これら校外行事に係る費用はご家庭に負担いただいております。実施のあり方や費用については、学校運営協議会や PTA 総務部会の皆様のご意見をうかがいながら、時間をかけて慎重に検討していきます。

校外行事に限らず、学校が 6 年間を通して、子供たちにどの時点でどのような力をつけたいのか、そのために、何を目的として教育活動を実施していくのか、しっかりと議論していきます。

校長 武藤 剛

夜空に輝く花火大会

11月22日(土)に「いずみっこサポーターズ」主催による花火大会が行われました。当日は晴天で無風の絶好のコンディションの中、手持ち花火から始まり、打ち上げ花火、ナイアガラへと続き、なんと手筒花火まで披露され、会場は大盛り上がりでした。

いずみっこサポーターズは、子供たちに学校生活では味わえないような体験を積んで欲しいという願いを持った地域の有志の皆さんが中心となり、今年度から活動を始めました。今回の花火大会も、サポーターズのメンバーの方のつながりで、消防団や煙火協会のお力を借りることもできたようです。サポーターズのスタンスは「できるときに、できることを応援する」こととうかがっています。メンバーは随時募集とのことです。



通学服リサイクルにご協力を！

各ご家庭に、使用する予定のない通学服がありましたら、学校に提供していただくことをご検討ください。また、既に卒業された、お知り合いやご近所の方にも呼びかけていただけるとありがたいです。

- 全てのサイズが対象です。
- ご家庭で洗濯ずみの通学服を提供してください。クリーニングの必要はありません。
- ボタンがない、わずかなほつれがある通学服でもかまいません。
- 修復が必要な破れ、大きなシミがある通学服の提供はご遠慮ください。
- お子さんの名前は、消した上で、提供してください。
- 今回は通学服のみのご提供依頼です。体操服等は、今後ニーズに応じて検討していきます。